

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴赤れんがパーク		
指定管理者	株式会社ウッディーハウス		
設置目的	国の重要文化財であり、舞鶴の歴史的資産でもある赤れんが倉庫群を次世代へ伝えていくため保存・活用し、市民の憩いの場の創出と観光交流人口の増大による地域経済の活性化を図るため。		
選定方法	公募	指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和14年3月31日
所管課	産業振興部 商工・観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	年度
利用者数(人)	506,088	700,012	942,768	1,191,450	
利用料金(円)	3,885,055	3,655,830	4,172,140	4,103,895	
指定管理料(円)	36,994,000	35,587,000	37,632,000	47,594,000	

※令和6年度途中にオープンした「atick」の数値について、令和6年度報告では対象外としていましたが、通年での運営となった令和7年度報告より正式に計上対象に含めています。

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用人数	1,500,000名	1,100,000名	1,191,450名	108.3%
観光消費額	3,000,000,000	1,200,000,000	721,126,227	60.1%
稼働率	—	50%	27.4%	54.8%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,103,895	人件費	24,460,516
事業収入 (テナント賃料・ レンタサイクル)	3,853,815	維持管理費	26,653,397
その他収入	0	事業費	994,348
指定管理料	47,594,000	その他	1,096,301
合計	55,551,710	合計	53,204,562
差額			2,347,148

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	来場者数の成果目標数値を達成することは出来たものの、観光消費額が目標に届かなかった。しかしながら令和6年度からは増加傾向にあり、目標達成に向け伸びを見せている。成果目標を達成することを期待する。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	市と密接な連携を図り、将来のビジョンに沿って、現在行うべきことを着実に実施している。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	市民の憩いの場、観光交流拠点施設として果たすべき役割を果たしている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	市指定事業、自主事業ともに計画どおり実施出来ている。新たなイベントとして、クリスマスマーケットを開催し、集客が図られている。

利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	SNS上での情報発信に力を注ぎ、赤れんがパーク関連情報を最大限発信することにより、利用者の増加につながっている。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	英語の堪能なスタッフを配置し、国内観光客のみならず、年々増加傾向にある外国人観光客への観光案内を実施するとともに、クルーズ船寄港時にも柔軟に対応が出来ている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	パンフレットやHPを自主製作し、利用者の意見や要望に素早く対応し、常にアップデートしていくことで、現場での案内機能や利便性の向上が図られている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	迅速に苦情対応を行うなど評価出来る。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	電球のLED化をはじめ、高所の電球交換、蜂の巣駆除、来場者の日よけ対策等、社員で対応できる業務は社員で行うとともに、コピー時の再生紙使用など、積極的な経費削減が図られている。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	販促物のデザイン・制作を自社で行うとともに、清掃業務や物品購入等の共用など、経費削減が図られている。
収入増加のための取組が行われたか	○	自主企画イベントの回数増加および内容の充実が図られており、収入増加が見られる。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	事務作業の見直しを実施することにより、時間外勤務の抑制を実現するなど適切な人員配置が行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	新人スタッフの教育研修を行うなど職員全員の能力向上に取り組んでおり評価できる。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例や規則の厳守に努めている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	職員への管理を徹底している。
情報の公開が適切に行われたか	○	透明性のある運営に努めている。
収支状況や会計処理が適切か	○	指定管理部分とパークPFI部分等の会計区分も明確になり、適切に管理が行われている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	資産マネジメント推進課の指導を受けながら適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	備品台帳の再点検を行い、きちんと整理され、適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	消防訓練、消防設備の更新等、危機管理対策が実施されている。引き続き万一の場合に備える体制づくりに努めてほしい。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	法令等を遵守し、適正に管理が行われている。

(5) その他コメント	
サービス向上	集客力や話題性の高い事業者との連携・誘致を積極的に推進し、パークPFI対象施設との協働により相乗効果を高め、広域からの集客を実現している。
経費削減	業務において、社員で対応できるものは社員で行うとともに、社員のコスト削減意識の向上にも努められ、積極的に経費削減が図られている。
施設の維持・管理	赤れんが周辺等まちづくり事業による整備に伴い、指定管理エリアが年々拡大する中、令和7年度は特に駐車場エリアの管理が加わり、ボードウォークの工事により駐車区画が減少している期間や降雪による除雪など管理運営には大変苦慮されたものと思う。 建物の維持管理についても、摩耗や損傷等を日常から点検され、迅速に対応いただいた。 引き続き、適切な維持管理に努めていただき、来訪者の満足度を高めていただきたい。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.75点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・様々な工夫によって運営に努めていただいております評価できる。 ・利用人数及びイベントでの集客力は評価できる。 ・SNSでの情報発信について評価できる。 ・利用者アンケートを積極的に取ってほしい。 ・観光消費額の目標設定が高すぎるため、見直してはどうか。 ・もっと魅力的な商品開発等が必要ではないか。 ・来場者数の割に、消費額が少ない。 ・赤れんがならではの自主事業を今後も頑張ってほしい。 ・設置目的を考え、歴史的遺産としての価値も発信してほしい。 ・atick利用者に対する駐車場の効果的な周知方法の検討が必要。	

《参考》 過年度の評価点

令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度	平均
3.33点	3.20点	3.66点		